

ノ許可ヲ受クベシ

第八條 第四條乃至前條ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル資金ニ付貸付、手形ノ割引又ハ當座貸越ノ契約ヲ爲ス場合ニ於テハ之ヲ適用セズ

- 一 行政官廳ノ認可、許可又ハ限度ノ指定ヲ受ケ借入ルル資金
- 二 行政官廳ノ命令ニ依リ融通スル資金
- 三 行政資金ノ融通決定アリタル者ニ對シ融通スル當該政府資金
- 四 預金、貯金、定期積金其ノ他之ニ準ズルモノヲ擔保トシテ融通スル資金
- 五 コール資金(翌日モノ、無條件モノ及七日以内据置ノ短期融通金ヲ謂フ)
- 六 金融機關ニ對シ融通スル資金

七 北海道、府縣、府縣組合、市町村、市町村組合、町村組合、市町村内ノ區、市町村學校組合、町村學校組合及學區ニ對シ融通スル資金

八 前各號ニ掲グルモノノ外主務大臣ノ指定スル資金

前項第一號乃至第五號及第八號ニ該當スル資金ニ付爲シタル貸付若ハ手形割引ノ金額又ハ當座貸越契約ノ極度金額ハ運轉資金貸付殘高、運轉資金貸付積數金額、基準貸付殘高、基準貸付積數金額、手形割引殘高、基準割引殘高又ハ當座貸越契約ノ極度金額ノ計算上之ヲ算入セズ

第九條 金融機關、證券引受會社又ハビルブローカー運轉資金ノ貸付又ハ手形ノ割引ヲ爲スヲ緊要ト認ムル場合ニ於テ主務大臣ノ許可ヲ受ケル暇ナシト認ムルトキハ十日間限リ第四條又ハ第六條ノ規定ニ拘ラズ貸出ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ爲シタル貸出ノ金額ハ翌年相當半期ニ於ケル基準貸付殘高、基準貸付積數金額又ハ基準割引殘高ノ計算上之ヲ算入セズ

第十條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ金融機關、證券引受會社ハビルブローカーニ對シ基準貸付殘高、基準貸付積數金額、基準割引殘高又ハ當座貸越契約ノ極度金額ノ減額ヲ命ズルコトヲ得

第十一條 證券引受會社又ハビルブローカー事業ニ屬スル設備ノ新設、擴張又ハ改良ノ爲ニ使用セラルト認ムル一件三萬圓以上ノ資金ノ貸付ヲ爲サントスルトキハ大藏臣ノ許可ヲ受クベシ

第十二條 金融機關、證券引受會社又ハビルブローカー第四條乃至第七條及前條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ各號ニ掲グル様式ニ依リ許可申請書ヲ日本銀行ノ本店又ハ支店ヲ經テ主務大臣ニ提出スベシ

- 一 第四條第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスルトキハ別表第一號様式
- 二 第四條第四項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスルトキハ別表第二號様式
- 三 第五條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスルトキハ別表第三號様式
- 四 第六條第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスルトキハ別表第四號様式
- 五 第六條第二項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスルトキハ別表第五號様式
- 六 第七條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスルトキハ別表第六號様式
- 七 第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスルトキハ別表第七號様式

本令ニ依リ提出スベキ許可申請書ニハ借主ガ會社ナルトキハ其ノ最終ノ貸借對照表及損益計算書並ニ最近ニ於ケル資産及負債ニ關スル試算表ヲ添附スベシ

第十三條 金融機關、證券引受會社又ハビルブローカー第九條ノ規定ニ依リ貸出ヲ爲シタルトキハ其ノ都度別表第八號様式ニ依ル報告書ヲ日本銀行ノ本店又ハ支店ヲ經テ主務大臣ニ提出スベシ

第十四條 金融機關、證券引受會社又ハビルブローカー三月、六月、九月及十二月ノ各月末現在ニ於テ一營業所又ハ一事務所ノ一人ニ對スル貸出合計殘高二十萬圓以上ニ及ブ貸出先アルトキハ營業所又ハ事務所毎ニ取纏メ翌月二十日迄ニ別表第九號様式ニ依ル報告書ヲ日本銀行ノ本店又ハ支店ヲ經テ主務大臣ニ提出スベシ

第十五條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ本令ニ依リ許可申請書又ハ報告書ヲ提出スベキ者ニ對シ其ノ副本ノ提出ヲ命ズルコトヲ得
主務大臣必要アリト認ムルトキハ本令ニ依リ提出スベキ許可申請書又ハ報告書ニ關シ別段ノ指示ヲ爲スコトヲ得

第十六條 本令ハ第一條、第四條乃至前條及第十七條乃至第十九條ノ規定ヲ除キ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第一條、第四條乃至前條第十七條乃至第十九條ノ規定ハ昭和十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十七條 昭和十六年九月三十日迄ハ第四條中「運轉資金貸付積數金額」又ハ「運轉資金貸付積數金額」トアルハ「流動資金貸付積數金額」又ハ「流動貸付積數金額」トシ「五萬圓」トアルハ左ニ掲グル金額トス

貸付先ガ拂込資本金額（拂込ミタル出資金額、株金額、出資金額及株金額ノ合計額又ハ基金額ヲ謂フ以下同ジ）三千萬圓以上ノ會社ナルトキ
三十萬圓
貸付先ガ拂込資本金額千萬圓以上ノ會社ナルトキ
二十萬圓
貸付先ガ拂込資本金額五百萬圓以上ノ會社ナルトキ
十五萬圓

貸付先ガ拂込資本金額五百萬圓未滿ノ會社又ハ會社以外ノモノナルトキ 十萬圓

前項ノ期日迄ハ本令中「基準貸付積數金額」又ハ「基準貸付積數金額」トアルハ第一條第六項又ハ第七項ノ規定ニ拘ラズ前年相當半期中ノ當該貸付先ニ對スル流動資金最高貸付積數金額又ハ前年相當半期中ノ當該貸付先ニ對スル流動資金貸付積數金額ニ相當スル金額トス

第十八條 第四條及第六條ノ規定ノ施行期日ノ前日ニ於ケル流動資金貸付積數金額又ハ手形割引殘高ガ基準貸付積數金額又ハ基準割引殘高ヲ超過スルトキハ當該流動資金貸付積數金額又ハ手形割引殘高ヲ以テ同條ノ施行期日ノ屬スル半期ニ於ケル基準貸付積數金額又ハ基準割引殘高トス

第四條ノ規定ノ施行期日ノ前日迄ニ爲シタル流動資金ノ貸付ニ對スル同條ノ規定ノ施行期日ノ屬スル半期中ノ貸付積數金額ガ基準貸付積數金額ヲ超過スルトキハ當該貸付積數金額ヲ以テ當該半期ニ於ケル基準貸付積數金額トス

第十九條 金融機關ハ第七條ノ規定ノ施行期日ニ於ケル當座貸越契約ニシテ極度金額ノ定ナキモノアルトキハ昭和十六年一月三十一日迄ニ前年相當半期中ニ於ケル當座貸越最高殘高ヲ超エザル限度ニ於テ極度金額ヲ定ムベシ

附 則 (昭和十六年十一月七日)
大藏、農林、商工、拓務省令第一號

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

輯四第・書叢令法制統時戰
覽便令體團業產要重

錢八料送 錢十八圓一價定 頁百三・番六列B

いのはで書説解の令體團業產要重な單き如る見に間巷は書本
 組制統び及會制統各且し録收を簿名の員合組制統び及員會制統
 かためしせ加倍を値價用利のそ、てめ輯を程規制統、款定の合
 合組び及員會もく荷、とこの論勿は員合組び及員會。るあでら
 に位各の賣販信通び及位各るれらせ有を係關引取のか等何と員
 。うよへ書とるあで典寶の缺可不對絶そこ書本、はてつと

番五〇三三北話電 會究研題問行銀 崎根會區北市阪大
 番六一〇四阪大替振 地番〇六目丁一上

昭和十七年八月十五日印刷
 昭和十七年八月二十日發行

戰時統制法令叢書第八輯
 金融統制團體令
 金融事業整備令
 銀行等資金運用令
 解説
 定價 壹圓五拾錢

認承協文
 了80080號
 不許
 著作權
 所有
 製

發行所 大阪市北區會根崎
 上二丁目六〇番地
 銀行問題研究會
 電話 北三三〇五番
 電 大阪四〇一六番

配給元 東京市神田區
 淡路町二丁目九
 日本出版配給株式會社
 會社番號 一〇七〇一〇

本邦唯一の統制經濟法令の一大鳥瞰圖!!

毎月一回(十五日・三十日發行)

統制經濟時報

一部 四十錢
 半年 四圓八十錢
 一年 九圓六十錢

本誌は官報掲載の國家總動員法令、統制經濟關係法令を細大洩らさず全部収録し、且これに一々懇切明快なる解説を附すると共に、商工省及び農林省通牒、最近統制違反判決例、公定價格品名(大阪府公價品名附)等を掲載せるを以て、本誌一部を机上に備へられんか、複雑難解なる時局法令と雖も、その全貌は正に一目瞭然である。官廳、地方自治團體はもとより學校、組合、銀行、會社、各種團體等は即刻本誌を備へられたい。

發行所 銀行問題研究會 崎根會區北市阪大
 地番〇六目丁一上
 電話 北三三〇五番
 電 大阪四〇一六番

電話 北三三〇五番
 大阪四〇一六番

昭和十七年版 **統制法全書**

本書は國家總動員法、輸出入品等臨時措置法、物資統制、金融統制、産業統制等吾人の日常生活を規正する統制經濟關係法令及び時局關係法令の一大集成にして、戦時下日本の國民にとり絶對必備の寶典と稱すべきである。

日本出版文化協會
發行 承認 濟會
定價 B六・七〇〇
送料 三圓八十錢

第七十七
第七十八
第七十九
議會新法律

大東亞戰爭下前後三回に亘る決戰議會通過の新法律を各省別に見易く分類収録し、且これに一々立法趣旨と解説を附して、複雑難解なる時局法令と雖も一讀忽ち理解し得る如く編纂した。

日本出版文化協會
發行 承認 濟會
定價 B六・二〇〇
送料 一圓五十錢

昭和十六年度 **經濟統制法判例年鑑**

昭和十六年度に於ける重要な經濟統制法判例二百を掲げ、統制法規の適用に關する幾多の疑義を解明した。蓋し國策協力に先づ本書一冊を備ふることから發足すると謂ふも過言であるまい。

日本出版文化協會
發行 承認 濟會
定價 A五・二三〇
送料 二圓八錢

發行所

大坂市北區會根崎 大坂市北區會根崎
電話 三三五〇 電話 三三五〇
振替 六一〇四 振替 六一〇四
銀行 問研會 銀行 問研會

昭和十七年二月改正

社會經濟統制令 說解

附・法令・書式・記載心得

本年二月改正社會經濟統制令、社會經濟統制令、社會經濟統制令の正改月二年本。感獲も最るす關に令制統金貨、令制統理經社會の正改月二年本。む望をとこんれらへ備に上机を本一非是、てしと書說解るあ。錢八料送・錢十八圓一價定・頁〇〇二・五A(會協化文版出本日) 濟認承行發

昭和十七年三月改正

臨時資金調整法 說解

附・事業資金調整標準表

今回改正の時機として本法違反者對する罰則強化され、その旨趣の法本ため更。たつなにとこるれさ斷處て以を針方罰。うらあが要必のるす識認を容内の。錢六料送・錢十八價定・頁〇〇一・五A(會協化文版出本日) 濟認承行發

昭和十七年四月改正

勞務調整令 說解

附・勞務者募集規則・國民勤勞報國協令

改正勞務調整令の全面的且具體的明解、し明解に的體具且的面全を令整調務勞正改。書・示告・令法係關、し明解に的體具且的面全を令整調務勞正改。國報勞動國民、則規集募者務勞、外るす錄收を等得心載記・式。す載登を令力協。錢八料送・錢十三圓一價定・頁〇七・一・六B(會協化文版出本日) 濟認承行發

大坂市北區會根崎 大坂市北區會根崎
電話 三三五〇 電話 三三五〇
振替 六一〇四 振替 六一〇四
銀行 問研會 銀行 問研會

917
149

日	月	年	號	冊
			917 函 149	
<p>戰時統制法令叢書 才介編</p>				備
<p>製本控</p>				考
<p>917 函 149</p>				備

著名二の說解法稅

(法稅載登)

- 遊興飲食稅
- 物品稅
- 入砂清酒
- 糖涼飲
- 場消飲
- 費料稅
- 稅稅稅
- 印骨建通
- 紙牌築行
- 稅稅稅稅

昭和十六年十二月改正
消費稅法解說

送料 八錢
定價 一圓六十錢
B六・三〇頁

(法稅載登)

- 相營法所
- 續業人得
- 稅稅稅
- 法法法
- 法法法
- 法法法
- 馬電廣臨
- 券氣告時
- 稅瓦斯稅
- 稅稅稅
- 法法法

昭和十七年度改正
新稅法解說

送料 八錢
定價 一圓八十錢
B六・三〇頁

五〇三三北話電 會究研題問行銀 崎根會區北市阪大 六一〇四阪大替振 地番〇六目丁一上

Ⓢ
£ 1.50

328.1
G464

終